

定例公安委員会開催状況

平成30年11月8日（木）

県議会平成30年決算特別委員会の開催状況について（総務部）

総務部長から、

県議会平成30年決算特別委員会は、10月26日に開会し、11月5日に閉会している。公安委員会関係の審査は10月29日に行われ、同日採決、最終日の11月5日に本会議において決算は認定されている。

審査内容は、平成29年度静岡県一般会計歳入歳出決算公安委員会関係である。

質問項目は

- 自民改革会議（以下「自改」）相坂摂治委員
静岡県交通安全指導員に対する残業代未払い事案について
- 自改 良知淳行委員
 - ・ 少年の非行情勢について
 - ・ 薬物取締りの強化について
- 公明党静岡県議団（以下「公明」）前林孝一良委員
 - ・ 交番駐在所の建設について
- ふじのくに県民クラブ（以下「ふ県」）阿部卓也委員
 - ・ 組織基盤の整備について
 - ・ 警察職員の健康管理対策の推進について
 - ・ 高度情報化施策の推進について
 - ・ 信号機設置に係る経費等について
 - ・ 災害補償費について
 - ・ 恩給及び退職年金費について
 - ・ ヘリコプターと警備艇の活動経費について
 - ・ 人身安全関連事案について
- 自改 中沢公彦委員
運転免許証の自主返納について
- ふ県 伴卓副委員長
 - ・ 交番相談員の配置について
 - ・ 情報システムの高度化の推進について
 - ・ 高齢者の交通事故防止の取組について
 - ・ 職員の健康管理対策について
 - ・ 放置違反金について

であった。

旨の報告を受けた。

◇ 委員から、「警察職員の健康管理対策の推進とあるが、どういう内容か。」との質問があり、警務部長が「警察職員の健康管理区分指定者が増加しており、その理由につい

て問われたもので、これに対し『2年ほど前から指定基準を見直し、幅広く健康管理区分に指定したことにより指定者が増加した』旨答弁している。」旨説明した。

新東名高速道路における最高速度110キロ試行開始後1年間の交通事故等の状況について（交通部）

交通部長から、

昨年11月1日から新東名高速道路における最高速度110キロ試行が開始され、10月31日で1年が経過した。この間の試行区間（約50キロメートル）における交通事故発生状況（速報値）について、人身交通事故26件（前年同期比（以下「同」）16件減少）、うち死亡事故1件（前年同数）、重傷事故4件（同2件減少）、軽傷事故21件（同14件減少）、物件交通事故201件（同21件増加）、総数227件（同5件増加）であった。

試行区間内の事故類型について、人身事故26件のうち追突が19件（73.1パーセント）、物件事故201件のうち追突は54件（26.9パーセント）、進路変更が54件（26.9パーセント）となり、著しい速度超過による事故の発生はなかった。

月別では行楽期である8月が39件と最も多く、次いで新年度が始まる4月の29件となる。

交通指導取締について、全5,046件のうち主なものは通行帯違反2,588件、速度超過1,661件となる。

主な対策として、航空隊との連携した取締り（平成30年中、4回実施）、平成30年6月「あおり運転等に対する抑止対策の強化期間」における取締り、速度違反自動取締装置の新規運用、試行区間の速度取締りを重点とした覆面パトカーによる遊動警戒を実施した。

旨の報告を受けた。

◇ 委員から、「あおり運転等に対する抑止対策」は東名と新東名合わせて実施したのか。」との質問があり、交通部長が「合わせて実施している。」旨説明した。

平成30年度静岡県国民保護共同図上訓練への参加について（警備部）

警備部長から、

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、国と県が主催する平成30年度静岡県国民保護共同図上訓練へ参加する。

訓練は、11月20日午後1時から、静岡県庁及び伊豆市役所において、伊豆ベロドロームでの国際的スポーツイベント開催中、爆破事案により多数の死傷者が発生したことを想定して行う。

旨の報告を受けた。

静岡犯罪被害者支援センター設立20周年犯罪被害者等支援講演会 inしずおか2018の開催について（警務部）

警務部長から、

犯罪被害者の現状や犯罪被害者支援の重要性についての県民の理解を深め、広く協力を求める機会とすることを目的に、12月8日午後1時から、静岡市清水区島崎町「清水テルサ テルサホール」において、静岡犯罪被害者支援センター設立20周年犯罪被害者等支援講演会inしずおか2018を開催する。

講演会では、第1部に平井紀夫氏（被害者遺族、全国犯罪被害者支援ネットワーク理事長）による講演（演題：「犯罪被害者とその支援～私の体験～」）、第2部に「静岡県内における犯罪被害者支援の取組状況と今後について」をテーマとしたパネルディスカッション（コーディネーター：弁護士白井孝一、パネリスト：静岡県弁護士会犯罪被害者支援委員会委員長、静岡犯罪被害者支援センター相談員、藤枝市協働政策課員及び警察相談課管理官）、第3部は静岡県立静岡商業高等学校音楽部による演奏会を行う。

来賓は静岡地方検察庁検事正、静岡県弁護士会犯罪被害者支援委員会委員長等、主催者側の主な参加者は静岡犯罪被害者支援センター理事長、静岡県くらし環境部長、本部長、本職等である。

旨の報告を受けた。